



欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要								
建物名称	(仮称)東海精機株式会社磐田工場新トラックヤード増築工事			BEE	0.8	BEEランク	B-	★★

2. 重点項目への取組み度									
重点項目	得点 <sup>※</sup> /満点		取組み度			評価			
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	3.0	/5				ふつつ			
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	3.0	/5				ふつつ			
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	3.0	/5				ふつつ			
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	2.6	/5				がんばろう			
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)			評価 凡例	よい 4 点以上		ふつつ 3 点以上		がんばろう 3 点未満	

3. 重点項目についての環境配慮概要		内訳対応項目	
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。		得点	3.0
<b>"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進(Global Warming)</b>			
<p>■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) 評価対象外</p>	<p>Q-1 2 2.1 2.1.2 ① Q-1 3 3.1 3.1.3 ② 3.2 3.2.1 ③ Q-2 2 2.2 2.2.1 ④ 2.2.2 ④ 2.2.3 ④ 2.2.4 ④ 2.2.5 ④ 2.2.6 ④</p>	<p>① 外皮性能 ② 昼光利用設備 ③ 昼光制御 ④ 躯体材料の耐用年数 ④ 外壁仕上げ材の補修必要間隔 ④ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 ④ 空調換気ダクトの更新必要間隔 ④ 空調・給排水配管の更新必要間隔 ④ 主要設備機器の更新必要間隔</p>	
<p>■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) 緑地の緑が連続するような外構植栽計画を行った。</p>	<p>Q-3 1 3 3.2</p>	<p>⑤ 生物環境の保全と創出 ⑥ 敷地内温熱環境の向上</p>	
<p>■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) 特に無し</p>	<p>LR-1 1 2 3 4 4.1 4.2</p>	<p>⑦ 建物外皮の熱負荷抑制 ⑧ 自然エネルギー利用 ⑨ 設備システムの高効率化 ⑩ モニタリング ⑩ 運用管理体制</p>	
<p>■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) 特に無し</p>	<p>LR-2 1 1.1 1.2 1.2.1 2 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 3 3.1 3.2 3.2.1 3.2.2 3.2.3</p>	<p>⑪ 節水 ⑪ 雨水利用システム導入の有無 ⑪ 雑排水等利用システム導入の有無 ⑫ 材料使用量の削減 ⑫ 既存建築躯体等の継続使用 ⑫ 躯体材料におけるリサイクル材の使用 ⑫ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 ⑫ 持続可能な森林から産出された木材 ⑫ 部材の再利用可能性向上への取組み ⑬ 有害物質を含まない材料の使用 ⑬ 消火剤 ⑬ 断熱材 ⑬ 冷媒</p>	
<p>■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) 特に無し</p>	<p>LR-3 1 2 2.2</p>	<p>⑭ 地球温暖化への配慮 ⑮ 温熱環境悪化の改善</p>	
<b>"災害に強いしずおか"の形成(Disaster)</b>		得点	3.0
<p>■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) 特に無し</p>	<p>Q-2 2 2.1 2.1.1 ⑯ 2.1.2 ⑯ 2.4 2.4.1 ⑰ 2.4.2 ⑰ 2.4.3 ⑰ 2.4.4 ⑰ 2.4.5 ⑰</p>	<p>⑯ 耐震性 ⑯ 免震・制振性能 ⑰ 空調・換気設備 ⑰ 給排水・衛生設備 ⑰ 電気設備 ⑰ 機械・配管支持方法 ⑰ 通信・情報設備</p>	
<b>"しずおかユニバーサルデザイン"の推進(Universal Design)</b>		得点	3.0
<p>■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) ⑳階高3.9m以上確保</p>	<p>Q-2 1 1.1 1.1.3 ⑱⑲ 3 3.1 3.1.1 ⑳ 3.1.2 ⑳</p>	<p>⑱ ユニバーサルデザイン計画 ⑲ 階高のゆとり ⑲ 空間の形状・自由さ</p>	
<p>■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮) 特に無し</p>	<p>Q-3 3 3.1</p>	<p>㉑ 地域性への配慮、快適性の向上</p>	
<b>"緑化及び自然景観"の保全・回復(Nature)</b>		得点	2.6
<p>■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥まちなみ・景観への配慮/⑥敷地内温熱環境の向上) 特に無し</p>	<p>Q-3 1 2 3 3.2</p>	<p>⑤ 生物環境の保全と創出 ⑥ まちなみ景観への配慮 ⑥ 敷地内温熱環境の向上</p>	
<p>■敷地外環境対策 (⑫持続可能な森林から産出された木材/⑮温熱環境悪化の改善) 特に無し</p>	<p>LR-2 2 2.5 LR-3 2 2.2</p>	<p>⑫ 持続可能な森林から産出された木材 ⑮ 温熱環境悪化の改善</p>	

# CASBEE® - 建築(新築)

## 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE 建築(新築)2021年SDGs対応版

| 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)東海精機株式会社磐田工場	階数	地上1F
建設地	静岡県磐田市高見丘1223、1224	構造	S造
用途地域	工業地域、市街化区域	平均居住人員	10 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年11月 予定	評価の実施日	2023年6月8日
敷地面積	69,324 m <sup>2</sup>	作成者	大和ハウス工業株式会社 静岡 建築一級建築
建築面積	4,879 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	4,797 m <sup>2</sup>	確認者	



シートの保護を解除してください

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.8**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.7

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.6

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

### LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.0

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合 これはCASBEE静岡(2021年版)による評価結果です。		その他 特になし
Q1 室内環境 評価対象外	Q2 サービス性能 建築基準法を上回る耐震基準を定めた「静岡県建築構造設計指針」に準拠している。	Q3 室外環境(敷地内) できる限り緑地を設けている。
LR1 エネルギー 設備システムの効率化に配慮している。	LR2 資源・マテリアル 資源の有効活用に努めている。	LR3 敷地外環境 燃焼機器を使用せず地球環境に配慮した計画としている。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される